

# 骨折をしないために

骨粗しょう症について

骨折を繰り返さないためには？

女性は10代から骨密度が低下するって知ってました？

骨粗鬆症の最新の治療を知りたい。

2024 11.16土

(12:30-13:50 までイベントあり)

稲沢市民病院 2階講堂

参加無料

一部 1F/2F 健康イベント | 12:30-13:50

1F 骨密度測定・血糖測定・体組成測定・健康相談  
薬剤師によるお薬相談・栄養管理士による献立相談など  
2F 筋トレしながらウォークラリー

二部 2F 講演会 | 14:00-16:00

『骨粗しょう症について』  
～骨折をしないために～

講師 野村由夫 腫瘍病・内分泌内科部長

講師の野村医師は日本骨粗鬆症学会認定医です！



『骨折予防体操』

講師 則竹洋和 整形外科医

自宅でもできる簡単な運動を一緒にやりましょう。

転倒骨折センターで手術だけでなく予防にも関わっています。



講演会前は大好評！健康イベント



News

防災ホイッスル



10月20日(日)の稲沢市民病院まつりのノベルティは『災害ホイッスル』をご用意しました。災害拠点病院の指定を受け、より一層市民の皆さんと共に防災への意識を高めていきたいという思いが込められています。災害時、援助を求めたい状況で大声が出せない時などに使用します。

当院の新しいロゴを入れました。

# 病院 News.

inazawa municipal hospital news

vol. 89

2024.October

# 災害拠点病院



# DMAT

稲沢市民病院は令和6年4月1日に愛知県から災害拠点病院の指定を受けました。今月号は、災害拠点病院の紹介とDMAT隊の訓練の様子などをお伝えします。



# 災害拠点病院

# DMAT

稲沢市民病院は、令和6年4月1日に『災害拠点病院』の指定を受けました。



## 災害拠点病院としての当院の取り組み

### 令和6年能登半島地震の支援

被災地支援のために、当院から医師、災害支援ナース、薬剤師がJMAT（日本医師会災害医療チーム）へ派遣されました。他にも災害支援ナース2名が看護支援のため愛知県看護協会からの要請を受け派遣されました。



【JMATとして被災地で支援したメンバー】

### 稲沢市消防本部との合同勉強会

年に4回開催される稲沢市消防本部との合同勉強会では、「能登半島地震の被災地支援の報告会」を行いそれぞれの活動を知り“いずれ自分たちも被災し、被災地となる意識を持つ”ことを共有しました。



【トリアージSTART法の訓練の様子】

「トリアージ」訓練では、日本DMAT隊員 伊藤医師（外科）は「有事に備えることが大切で、トリアージは異常事態時に医師のみならず事務、看護師でも行える指標である。アンテナを張り、負傷者の状態変化によってトリアージの色を変えていき、“医療資源を救える命に集中”させることが大切である。そのために『災害拠点病院』である当院の使命として、被災した時に地域のリーダーとなり医療を提供するために総合力を上げていく必要がある。」と述べました。

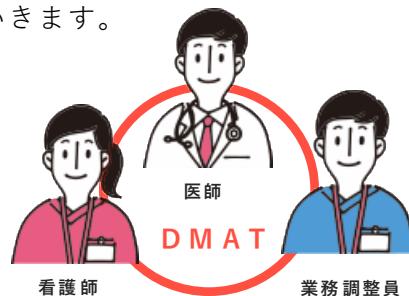
## 災害拠点病院とは？

- 災害時に被災地域の罹災者などの受け入れ
- 被災地域の医療機関の支援
- 患者の広域搬送
- DMAT（災害医療派遣チーム）の派遣

南海トラフ地震などの大規模災害発生時には多くの罹災者の発生が想定されます。早急な医療の提供および地域の医療機関への支援が必要となることから、災害拠点病院の指定を受け、公立病院として災害医療の中心的な役割を担っていきます。

## DMATとは？ Disaster Medical Assistance Team

「災害急性期に活動できる機動性を持つトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。英語の頭文字から「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています。



医師1名、看護師2名、業務調整員1名（当院は放射線技師）にて構成

- 【役割】
- 被災地での医療活動、患者搬送
  - 災害拠点病院を中心とした病院支援
  - 社会福祉施設の援助
  - 孤立集落、避難所、診療所の支援
  - ネットワークを使用した被災情報の共有・分析
- など様々な役割があります。

大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。阪神・淡路大震災により災害医療の見直しがされ、“一人でも多くの命を助けよう”という厚生労働省の理念のもと災害派遣医療チーム、日本DMATが平成17年4月に発足しました。当院は、災害拠点病院に今年度（2024年4月1日）指定を受け、それに伴う活動を行なっています。

DMATの定義は、厚生労働省DMAT事務局HPより引用 <http://www.dmatjp/dmat/dmathtml>

## DMAT車両とは？

DMAT車両は、DMAT隊員の出勤に使用する車両です。

有事の際は、応急処置のための医療用の物資や医薬品、ヘルメットや発電機などの災害活動用の資機材を搭載します。



【赤・黄・緑のトリアージバッグ】 【中身はバッグの色により異なる】 【DMAT隊員がバックの中身を詰める】  
※トリアージとは診療の優先順位。緊急度の高い患者さんから診療を行う指標です。

- ① 首都直下型地震発生メールが届く
- ② DMAT隊員は当院に集合し待機
- ③ 出動要請を受け出発



- ④ 談合坂サービスエリア到着
- ⑤ 活動拠点本部でのミッション



訓練内容  
最大震度7を観測する首都直下地震の発生メールがDMAT隊員に届き自動待機の後、厚生労働省の派遣要請を受け、参集拠点の談合坂サービスエリアへ向かいます。そこから東京都内の災害拠点病院へ移動します。

被災地区の病院ではライフライン、物資、人材、建物などの被害状況の情報収集、その情報源に基づいた支援対策のミッションが付与されます。通信が途絶えている病院にはDMAT隊員が現地へ向かい状況を把握し情報を共有します。状況調査を行いミーティングを重ねて訓練は終了です。

### 今回の訓練で見えた今後の課題

DMATの役割の一つに被災地の病院支援があります。病院支援には被災病院の災害対策本部の援助も含まれています。自施設の災害対策本部にDMAT隊員を構成員として入れる必要性や援助を受け入れる仕組み作りが重要であり、災害対策マニュアルの改訂と自施設での訓練が必須です。今回の訓練での学びを今後の災害対策に役立てていきます。